

市長退任の挨拶

留萌市長 五十嵐 悦郎

二期・八年間にわたる市民皆様のご支援に対し心よりお礼申し上げます。



市政の  
主人は  
市民である

このたび、三月九日をもって任期満了により留萌市長の職を退任いたします。市長在任中は、議員各位をはじめ、市民皆様のあたたかいご協力により着実に市政を進めることができましたことを心より感謝申し上げます。一言ご挨拶申し上げます。

顧りみまずと昭和六十一年三月、今は亡き原田栄一前市長の後を受け、図らずも留萌市長の重責を担ったわけではありますが、我ながら驚くほどの早さで二期八年間が過ぎ去ってしまいました。この間、私の信条であります公正、信頼、清潔をモットーとして精一杯の努力を重ねてきたところであります。

しかしながら今般、私自身の健康管理に対する不徳から、退任の結論に至ったことに、市民の皆様にかかるお詫びを申し上げます。

就任当時を思い起こしますと、日ソ漁業交渉による

減船問題、石炭の合理化、さらには国鉄羽幌線の廃止等国の政策とは申しながら、まことに厳しい状況下にあったと思います。

ちょうど、国の施策や国際的な状況の余波を受けた産業構造や経済構造の変換期にもありましたが、この中であって二年がかりで市民各界、各層の方々によるご意見を集約した留萌市第三期総合計画を策定し、計画に基づいた事業の促進を図り、特に教育施設の充実につとめ幌糠小学校、港北小学校、緑丘小学校の改築をはじめ、下水道事業のスタート、港東、港西コミュニティセンターの完成、更には海のふるさと館や図書館の完成、浜中運動公園整備等、多くの事業を進めさせていただきました。

また、国・道との関連事業については留萌ダム、CZ等大型プロジェクトの完成に向け事業促進を図られておりますし、留萌〜深川間高規格幹線道路の着工

更には、国道拡幅事業等も着々と進んでおりますことは本当に喜びにたえません。

反面、留萌川の氾濫といった有史以来の大災害に襲われ、国・道をはじめ市民一丸となった復旧にご尽力をいただきましたことは限り無い感謝の念でいっぱいであります。

私は、今日まで多くの先人、先輩の血のじむような努力に報いる道と考へ常に「市政の主人公は市民である」このことを基本理念として積極的な施策を進めさせていただきました。

二十一世紀に向けて引き続きその基盤は強固なものとして、芽をふくものと確信いたします。

日本海の自然に恵まれたこの地に、幾多の汗の結晶によって今日みられるような発展をとげた留萌市の歴史と伝統に愛着をもつ市民の一人として、今後もこよなく愛し続けてまいりたいと考えております。

最後に、市民皆様のご健

勝とご繁栄を心よりご祈念申し上げ、退任のご挨拶といたします。



北海道植樹祭



開基110周年記念に小学生たちとタイムカプセルを埋設



吹雪の中、外国船を慰問



300人の市民と留萌の海を合唱



ソフトボール場完成で始球式



敬老の日にお祝を手渡す



水害のあった家々に被害状況を聞く



いこいの森で植樹に汗を流す



新一年生に交通安全を呼びかける



港湾整備について陳情



中学生の方々と懇談